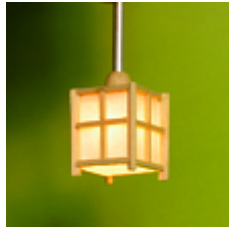


【和風天井灯の作り方】



和風天井灯 (飾り棧なし)



吊下げ灯 (飾り棧あり)

《キットに含まれているもの — 和風天井灯 2 個分の材料が入っています》

☆麦球×2	☆バalsa板×2	☆ウッドビーズ×4	☆ヒノキ棒 (1 ミリ角) ×8
☆プラ板×1	☆型紙×各1	☆アルミパイプ×1	☆ヒノキ棒 (1×2 ミリ) ×2
☆和紙×1	☆説明書×1		☆延長コード・収縮チューブ

《自分で用意するもの》

★ブラ板カッター	★ハサミ	★サンドペーパー (240~400 番程度)	★マスキングテープ (セロテープでも可)
★木工用ボンド	★ピンバイス		
★ピンセット	★定規		

(1) プラ板の加工



プラ板を型紙よりやや大きめにカットして型紙に重ね、動かないよう四隅をテープで留めます。

(2)



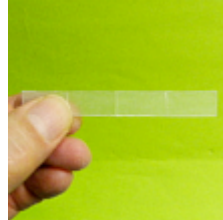
プラ板カッターなどで型紙の実線(切り取り線)に合わせてスジを彫ります。点線部(山折り線)は深く彫りすぎないこと。

(3)



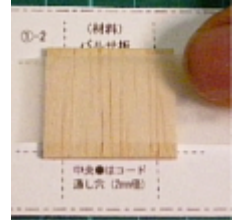
型紙から外し外側になる面にサンドペーパー(#240~400)をかけます。これは後で和紙を貼りやすくなるためです。

(4)



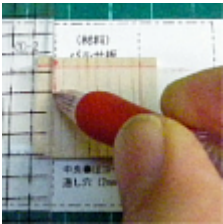
型紙の実線(切り取り線)に合わせてカットします。点線部(山折り線)は切らないで軽く折り曲げます。

(5) バalsa板の加工



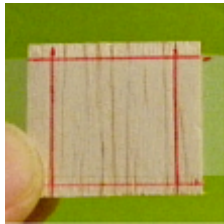
バalsa板を型紙よりやや大きめにカットして型紙に重ね、テープで留めます。

(6)



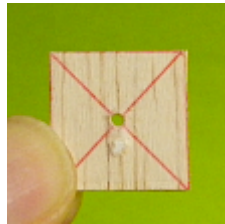
型紙の補助線(点線)を目安にしてバalsa板の上に型紙と同じ図形を描きます。

(7)



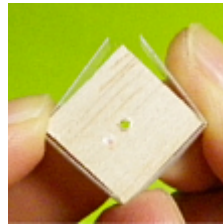
型紙から外しカットします。(画像は赤色の線ですが、鉛筆で描けば後で消せます)

(8)



型紙通りにカットし、中央に2ミリ径の孔を開けます。バalsa板は割れやすいので注意。

(9) カサの製作



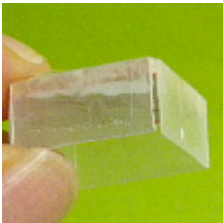
プラ板を折り曲げ、バalsa板と合わせてみます。ていねいに調整してください。

(10)



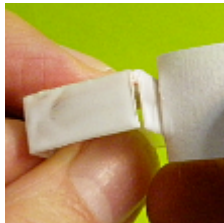
バalsa板の周囲にボンドを塗ってプラ板を貼り付け、乾くまでテープで仮止めします。

(11)



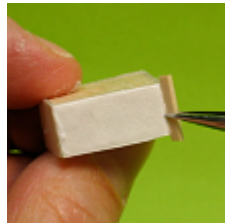
1 カ所プラ板のすき間が残りますがこの後和紙を貼ると隠れます。

(12)



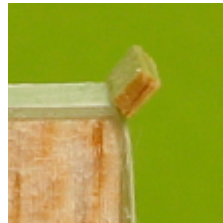
プラ板外側全面にボンドを塗ります。和紙を一周分より長めにカットし、すき間のない角から巻くように貼ります。

(13) 隅柱・棧の取り付け



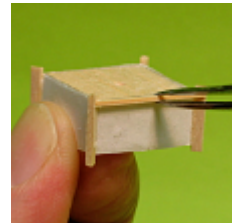
乾いたらはみ出した和紙をカット。1×2 ミリのヒノキ棒を1.3センチ長に切り、隅柱とします。天地の割付は均等に。

(14)



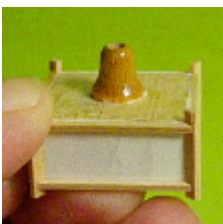
隅柱の取り付け状態を上から見たところ。隅柱が天板の対角線の向きについていることを確認してください。

(15)



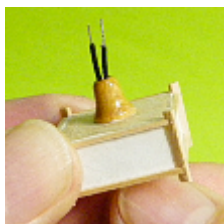
1 ミリ角のヒノキ棒で上下の棧を作ります。両端を45°に切り込んで隅柱に密着させると仕上がりがきれいです。

(16)



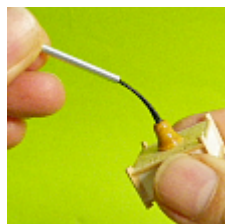
ウッドビーズを天板の中央にボンドで接着します。天板中央の孔と位置がずれないようにしてください。

(17) 電球取り付け



ボンドがよく乾いたら、麦球のコードを通します。(先に延長コードをつなぐと孔を通らなくなるので注意)

(18)



アルミパイプを適当な長さにカットし、コードを通します。パイプの下端をビーズの中まで押し込みます。

(19) 完成



パイプ上端にもビーズを通して完成です。コードを長くしたいときは延長コードを接続してください。

(20) 点灯・飾り棧をつける



12V の電源につなぐと点灯します。写真のように1 ミリ角のヒノキ棒で飾り棧をつけると装飾性が増します。